



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2022年度 業務報告会

検査システム委員会 活動報告

2023年2月20日
検査システム委員会
委員長 山岡 弘明

- 今年度の事業計画
- 今年度の活動状況・成果
- 専門委員会、WG報告
 - 臨床検査システム専門委員会
 - 内視鏡部門システム専門委員会
 - 病理・臨床細胞部門システム専門委員会
 - 放射線治療WG
 - 検査レポート検討WG
 - DICOM WG
- 来年度の事業計画

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・ 「JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約 Ver.2.1C」 制定(相互運用性委員会と連名)
- ・ 「JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C」 制定(相互運用性委員会と連名)
 - － 上記2文書は「JAHISデータ交換規約(共通編) Ver.1.3」に準拠・整合性確保を実施
- ・ 「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」 制定
 - － 「JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0」に準拠
- ・ 「JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約 Ver.4.0」 制定
 - － 「DICOM Standard 2022a」に準拠・整合性確保

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

- ・ IHE-PaLM、IHE-EndoscopyのWeb会議参加、情報展開。
- ・ DICOM Standard Committee、WG-13(Visible Light)、WG-26(Pathology)への参画。
国際標準化委員会と連携し、4件79項目のCPack、4件のSupplementの国際投票を実施。
- ・ 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照する「JED用語集」の
LOINCコード取得に向けた原案作成を実施。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- ・ JAHIS教育事業(セミナー)「医療情報システム入門コース」の検査システム章に関する教材作成、講師を担当
- ・ JAHIS教育事業(書籍)「医療情報システム入門2023」の検査システム(7章)の執筆担当

JAHIS標類準の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」改定作業中
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」、及び他のデータ交換規約個別編等との整合性確保、日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版で見直された用語・説明の反映を目的に改定作業中

JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- 標準マスターの整備
 - JLAC11普及促進・標準化を目的とした「臨床検査項目標準マスター協議会」に参加継続。
- JAHIS教育事業(医療情報システム入門コース)
 - 日時／場所：2022年7月29日・11月11日／オンライン開催
 - 担当パート：検査(臨床検査・病理診断・生理検査)システム
 - 受講者アンケート結果(内容の満足度、満足＋やや満足)
1回目 約92%、2回目 約94%

・ 病理・臨床細胞部門システム専門委員会と共催の勉強会・セミナー

- 日時／場所 : 2022年2月3日／オンライン開催
- タイトル : 今が旬！『医師の働き方改革～タスク・シフト／シェア』
- 内容 : 2024年4月からの改正医療法施行による、医師業務の一部の移管・共同実施、多職種連携医療を目指す動き、その中における検査技師の大きな業務拡大の可能性、及び検査システムの変革に対するご意見、等のテーマによる3名の先生方のセミナー講演
- 参加者 : 159名

内訳

会員会社:41社

非会員 :19団体

(内、医療機関10施設)



JAHIS臨床検査システム専門委員会、病理・臨床細胞部門システム専門委員会 合同勉強会 『医師の働き方改革～タスク・シフト／シェア』

プログラム:

I. 開会挨拶	打保 昭典 専門委員長
II. 講演	
医師の働き方改革～タスク・シフト／シェア	
基調挨拶 ファシリテーター	
1. 医師の働き方改革～タスク・シフト／シェアの概要	井口 健 先生 20分
2. タスク・シフト／シェア～臨床検査技師との関わり	横地 常広 先生 20分
3. タスク・シフト／シェア～厚生労働大臣指定講習会について	竹浦 久司 先生 30分
休憩 10分	
4. タスク・シフト／シェア～システムに期待すること！	横地 常広 先生 50分
5. ディスカッション	60分
III. 閉会挨拶	近藤 恵美 専門委員長


— 一般社団法人 全国臨床検査技師システム連合会 —

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- ・ JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C 制定
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」、及び「JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.3.2C」等との整合性確保、加えて、日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版で見直された用語・説明の反映を実施
 - 2022年4月にJAHISサイトにて公開
- ・ 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照している「JED用語集」のLOINCコード取得(詳細を次ページに記載)
- ・ JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.3.0 改定作業
 - 「DICOM Standard 2022e」に準拠すべく改定作業中。

海外活動、JAHIS活動との連携

- ・ IHE-J コネクタソンとの連携
 - 審査基準の改訂、審査員派遣等にて連携を実施。

- ・「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」内「JED用語集」のLOINCコード取得
 - －「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」に採用した消化器内視鏡検査および診断に関する用語集「JED用語集」のうち、構造化記述規約で参照する用語に対し、LOINCコードを取得し国際標準化を目指す。

他の標準との関係（現在の状況）

HL7 CDA R2

ISO/HL7 27932:2009

JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0

JAHIS標準 20-002

JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0

JAHIS標準
21-002

参照

・日本消化器内視鏡学会(JGES) が推進するJED (Japan Endoscopy Database) Project*と完全に整合性がとれるようにとりまとめた。

*JED Project・JED用語集については別ページで補足説明

日本消化器内視鏡学会「JED用語集」

内視鏡検査レポート構造化記述規約では、「JED用語集」の各用語にJAHISのOIDを用いてローカルコードを割り当ててコードセットとして使用。

コードを含めた一覧はJED-Projectホームページで公開済み(後述)。

- ・「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」内「JED用語集」のLOINCコード取得
 - － JED-Projectホームページにて、「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約」を紹介するリンクと、JAHISローカルコード付番済みのJED用語集を公開実施中。

JAHIS標準 内視鏡検査レポート構造化記述規約(*1)に準拠した製品向けのJED用語

[JAHIS標準準拠製品向け
JED用語集 \[基本情報\]
Ver.1.0.0](#)

[JAHIS標準準拠製品向け
JED用語集 \[診断処置\]
Ver.1.0.0](#)

注記：

- ・ 本用語集は、JAHIS標準『内視鏡検査レポート構造化記述規約』に準拠した将来開発される製品向けに作成したものです。
- ・ JAHIS標準に準拠しない製品の開発時や、既製品の改修時には、引き続き通常のJED用語をご利用ください。

(*1) JAHIS標準『内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0』の詳細はJAHIS公式ホームページ (<https://www.jahis.jp/standard/detail?id=824>)をご確認ください。



JEDProject

用語集ダウンロード

JED用語

JED用語集 [基本情報] Ver.5.0.3

JED用語集 [診断処置] Ver.5.0.5

スクリーニングJED用語

スクリーニングJED 上部用語集 Ver.1.2版

スクリーニングJED 下部用語集 Ver.1.2版

用語解説資料

既製品JED用語集

用語解説 [JNCJ用語集]

用語解説 [JED基本情報集]

用語解説 [スクリーニングJED編]

JAHIS標準 内視鏡検査レポート構造化記述規約(*1)に準拠した製品向けのJED用語

JAHIS標準準拠製品向け JED用語集 [基本情報] Ver.1.0.0

JAHIS標準準拠製品向け JED用語集 [診断処置] Ver.1.0.0

注記：

- ・ 本用語集は、JAHIS標準『内視鏡検査レポート構造化記述規約』に準拠した将来開発される製品向けに作成したものです。
- ・ JAHIS標準に準拠しない製品の開発時や、既製品の改修時には、引き続き通常のJED用語をご利用ください。

(*1) JAHIS標準『内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0』の詳細はJAHIS公式ホームページ (<https://www.jahis.jp/standard/detail?id=824>)をご確認ください。

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約 Ver.2.1C 制定
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」との整合性確保
 - 日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版で見直された用語・説明の反映を実施
 - 2022年9月にJAHISサイトにて公開
- JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約 Ver.4.0 制定
 - 「DICOM Standard 2022a」に準拠・整合性確保により改定
 - 2022年9月にJAHISサイトにて公開
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
 - 第20回日本デジタルパソロジー・AI研究会 定時総会(2022年8月26日～28日 於北里大学 白金キャンパス 大村記念ホール)にて、病理・臨床細胞関連のJAHIS標準類を紹介

海外活動、JAHIS活動との連携

- IHE PaLM国際会議への参加
 - 毎月の国際Web会議に参加し、JAHIS内の関連委員会・WGに展開
 - 現在、病理・臨床細胞分野においては、DPOR(Digital Pathology – Ordering & Reporting)を検討中

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0 制定
 - 「JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0」に準拠
 - 2022年4月にJAHISサイトにて公開
- 日本放射線腫瘍学会第35回学術大会で普及促進活動
 - 「日本放射線腫瘍学会第35回学術大会」にて、
「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」や「JAHIS活動」について、ポスターセッションで発表。
※詳細を、次ページに記載



- 日本放射線腫瘍学会(JASTRO)データベース委員会との連携
 - 「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」は、日本放射線腫瘍学会(JASTRO)データベース委員会と連携し、同学会の全国放射線治療情報登録事業(JROD)として放射線治療部門において標準的と位置づけられているデータ項目を織り込み制定。
 - JRODガイドラインで必須と定義されている項目を中心に全129項目中 62項目 に対応



1. はじめに

1.1. 本規約と個別編の位置付けについて

2. CDAの特徴と扱いについて

3. 主な用語と参照規格

3.1. 主な用語

3.2. 参照する他規格・マスタ

4. 適用範囲

5. 記載の説明

5.1. HL7 CDA R2仕様

5.2. 規定表の記載基準

6. 診療記録共通記述部

7. CDAヘッダ部

7.1. CDA 文書のためのXML記述

7.2. CDAヘッダの構成

7.3. 電子診療文書 "ClinicalDocument" の構成

7.4. ドキュメントヘッダ情報

8. CDAボディ部

8.1. CDAボディ部定義

8.2. CDAボディ部構成

8.2.1. 放射線治療サマリー

8.3. 共通セクション

8.3.1. 患者付帯情報

8.3.2. バイタルサイン

8.4. 個別セクション

8.4.1. 患者基本情報(JROD)

8.4.2. 患者付帯情報(JROD)

8.4.3. 疾患情報

8.4.4. 治療方針情報

8.4.5. 外部照射情報

8.4.6. 密封小線源治療情報

8.4.7. 非密封線源治療情報

8.4.8. 治療評価情報

付録 - 1. 本規約で使用するコード類

付録 - 1.1. ヘッダ部

付録 - 1.2. ボディ部

付録 - 1.3. コードシステムとコード表

付録 - 1.4. サンプルコード

付録 - 2. スキマトロン適合表

付録 - 3. 印刷／表示例

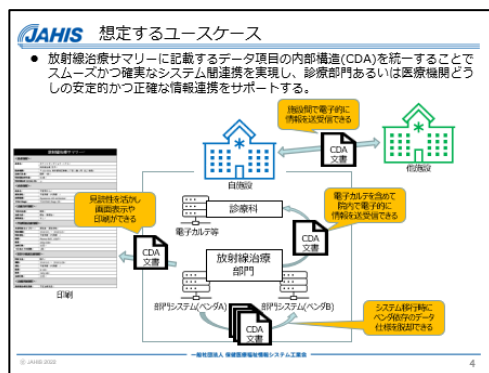
付録 - 4. 作成者名簿

※赤文字部分: 主な個別編固有部分

大項目	中項目	小項目
【1.患者情報】	【1-1.患者基本情報】	照射開始時年齢
	【1-2.患者付帯情報】	照射開始時ECOG PS
【2.疾患情報】	【2.疾患情報】	疾患名
		原発部位
		原発部位側性
		原発部位ICD-O コード
		病理組織
		病理組織ICD-O コード
		病期分類名1
		CPR1
		T1
		N1
		M1
		Stage1
		Grade1
		病期分類名2
		CPR2
		T2
		N2
		M2
		Stage2
		Grade2
		病期分類
		CPR3
		T3
		N3
		M3
		Stage3
		Grade3

【3.治療情報】	【3-1.治療方針】	今回の治療
		治療方針
【3-2.外部照射】	【3-2.外部照射】	照射開始日
		外部照射終了日
		外部照射総線量
		外部照射回数
		外部照射分割回数
		一日あたり照射回数
		外部照射カテゴリー
		治療対象遠隔転移部位
		外部照射部位
		外部照射部位ICD-O コード
		線種1
		エネルギー1
		線種2
		エネルギー2
【3-3-1.密封小線源治療】	【3-3-1.密封小線源治療】	密封小線源部位
		密封小線源部位ICD-O コード
		密封線源
		密封小線源線量率
		密封小線源照射方法
		密封小線源一回線量
		密封小線源分割回数
		密封小線源総線量
		密封小線源治療開始日
		密封小線源治療終了日
		密封小線源治療日数
		非密封線源
		非密封線源投与量
		非密封線源投与回数
【3-4.治療評価情報】	【3-4.治療評価情報】	放射線治療完了度

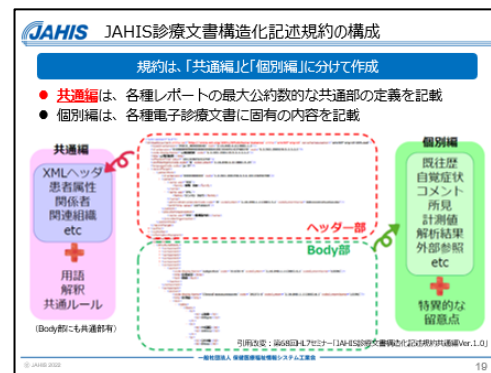
日本放射線腫瘍学会第35回学術大会での主な発表内容



内容見本

表1: 診療科目別診療科目コード一覧

診療科目コード	診療科目名	診療科目コード	診療科目名
001	内科	002	外科
003	小児科	004	産婦人科
005	皮膚科	006	泌尿器科
007	呼吸器科	008	循環器科
009	消化器科	010	神経科
011	眼科	012	耳鼻科
013	歯科	014	皮膚科
015	放射線科	016	放射線科



JAHIS JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約Ver.1.0

目次構成

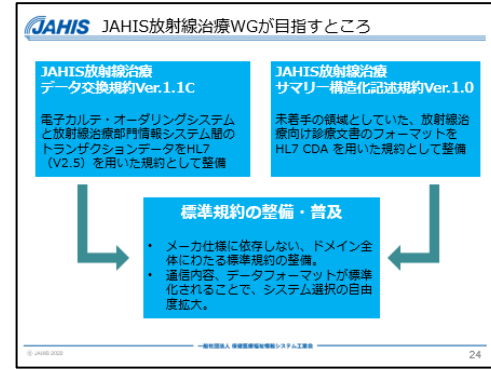
1. はじめに	8.4. 照射計画
1.1. 本規約の目的と位置付け	8.4.1. 患者基本情報 (ORCID)
2. CDAの構成について	8.4.2. 患者付随情報 (ORCID)
3. 主な用語と参照関係	8.4.3. 検査情報
3.1. 主な用語	8.4.4. 治療方針情報
3.2. 参照する利用規約-マスタ	8.4.5. 外部診療情報
4. 診療科目	8.4.6. 既往の病歴・検査結果
5. 診療科目コード	8.4.7. 非定常診療情報
6. 診療科目コード一覧	8.4.8. 治療経過情報
7. CDAの構成	
7.1. CDA文書の構成	
7.2. CDA文書の構成	
7.3. 電子診療文書 "Clinical Document" の構成	
7.4. ドキュメントタイプ	
8. CDAの構成	
8.1. CDAの構成	
8.2. CDAの構成	
8.3. 診療科目	
8.3.1. 患者付随情報	
8.3.2. バイオサイン	

※赤文字部分: 主な個別編固有部分

内容見本

表2: 診療科目別診療科目コード一覧

診療科目コード	診療科目名	診療科目コード	診療科目名
001	内科	002	外科
003	小児科	004	産婦人科
005	皮膚科	006	泌尿器科
007	呼吸器科	008	循環器科
009	消化器科	010	神経科
011	眼科	012	耳鼻科
013	歯科	014	皮膚科
015	放射線科	016	放射線科



JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- 他の委員会・専門員会・WGとの連携
 - 「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」制定に対する支援
- WG再編成に関して
 - 2021年度に、「診療文書構造化記述規約 共通編の維持改良」と「今後の個別編開発支援（共通ルールの確認、追加）」の2つを目的としてWG再編成を実施したが横軸活動が主になりつつある為、再度、WGの在り方の検討を開始

海外活動、JAHIS活動との連携

- DICOM 国際投票
 - 4件のCpack(79件の修正提案)、4件のSupplement(追補)を関係WG、団体と連携・検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施、投票結果の反映をフィードバック
- DICOM Standard Committee(DSC)、及びWG-13・WG-26への参画
 - DSC(DICOM Standard Committee)、WG-26(Pathology)に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施、WG-13(Visible Light)は開催なし
 - DSCではJIRA、JSRTとJapan Reportとして日本の活動を報告



一般社団法人
日本医療検査科学会
The Japan Association for Clinical Laboratory Science
(旧: 日本臨床検査自動化学会)

JCCLS 特定非営利活動法人
日本臨床検査標準協議会
JAPANESE COMMITTEE FOR CLINICAL LABORATORY STANDARDS



HL7
International

臨床検査項目標準マスター運用協議会



Japan Association for Medical Informatics



一般社団法人
日本消化器内視鏡学会
Japan Gastroenterological Endoscopy Society



一般社団法人 日本病理学会
The Japanese Society of Pathology



公益社団法人
日本臨床細胞学会
The Japanese Society of Clinical Cytology

JSDP
Japanese Society of Digital Pathology

JIRA



IHE
INTERNATIONAL | Integrating the Healthcare Enterprise

IHE
JAPAN | Integrating the Healthcare Enterprise

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました